

**参加  
無料**

# ムスリムフレンドリーな 観光地域づくりセミナー

世界遺産平泉の玄関口である一関は年々外国人観光客の方々の利用が増えています。駅前では、日本人より外国人観光客の人数が大幅に多くなる日もあります。その中でも、外国人旅行者が一関、平泉を訪れた際、一番に困るのは食事面ではないでしょうか？一関市内を見ても、ベジタリアンやビーガン、ハラル対応が可能な飲食店の数が少ないように感じます。

では、誰しものが安心して過ごせる観光地域ってどんなものだろう？ハラルとは何だろう？その点を、講師の方や地元でハラル食の開発をしている企業の方をお招きして共に学び、フードダイバーシティな観光地域づくりについて考えていきたいと思えます。

【日 時】 **2019年3月1日（金） 14:30～16:30（開場14:00）**

【内 容】 **1. 基調講演**  
「ムスリム、ベジタリアン、ヴィーガン等、食の多様化対応について」  
フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩 氏

**2. 試食会（ラーメン等）**

**3. 個別相談会（守護様による指導が受けられます）**

【会 場】 かぶらや KABURAYA（一関市磐井町2-13）

【定 員】 30名

【申込方法】 右記QRコードから参加登録をお願いいたします。

※もしくは、世界遺産平泉・一関DMOまで。

TEL・FAX：0191-34-5345（10時～18時）



## 守護 彰浩 氏

千葉大学卒。2007年楽天株式会社入社、2012年独立しコンサルティング会社を設立。以前よりムスリムとの縁が多くあり、2013年よりハラルについての勉強するため、全国のモスク、国立大学を周る。2014年1月に日本国内のハラル情報を日本語、英語、インドネシア語、マレーシア語、中国語、アラビア語で世界に発信するポータルサイトであるHALAL MEDIA JAPANをサービスイン。

2015年4月よりハラルレストラン検索サイトHALAL GOURMET JAPANをアプリと共にサービスイン。またハラルにおける国内最大級のトレードショー・HALAL EXPO JAPANを4年連続で主催し、国内外の事業者、及びムスリムを2万人以上動員。現場の具体的な事例やムスリムの生の声を届ける講演を全国で展開中。

フードダイバーシティをコンセプトにハラルだけでなく、ベジタリアン、ビーガン、コーシャなどありとあらゆる食の禁忌に対応するコンサルティングを行う。流通経済大学非常勤講師も務める。



主催：平泉一関エリア農泊推進協議会 共催：世界遺産平泉・一関DMO  
後援：一関商工会議所、平泉商工会、一関市観光協会、平泉観光協会、岩手県南広域振興局  
お問い合わせ：TEL 0191-34-5345（平日：10時～18時）